

みらぼくたより

まちづくり団体
未来をぼくらの手で

No. 6

2015年4月発行

4月12日は選挙です！

鳥取市のみなさんこんにちは！僕たちは、鳥取市とつくば市のまちづくり団体である「未来をぼくらの手で」と申します。現在メンバー全員は未成年で、まだ選挙権がありませんが、よりよい鳥取つくばを目指し、子ども議会の開催、陳情の取り扱いの改善や選挙推進活動などを行っております。さて、今回は4月12日の第十八回統一地方選挙(鳥取県知事選挙及び鳥取県議会議員選挙)について、選挙に行くべき理由を説明して行きたいと思えます。

選挙投票は チーム競技だ！

選挙の一人一票って小さいですよね。多くの方はこの一票の小ささに不満をもっているかもしれません。「私の一票には誰よりも熱い思いがあるのに、結局は、他の一票と変わらないじゃない。まして、投票した人が落ちたら、私が投票した意味はなんだったの!？」と思う方も沢山いらっしゃるでしょう。でも嘆いていても始まりません。

まず、選挙投票について知って欲しい事があります。それとは、選挙は個人競技ではないということです。

選挙投票はチーム競技です。チーム分けは20代30代40代……となっております。ポイントは選挙投票率。高い選挙投票率を獲得できた年代ほど国会はその年代に向けた施策を積極的に行ってくれると言うものです。今の所、選挙投票率は高齢者世代に高く、若い世代は低いので、結果として高齢者向けの施策は多く、若い世代向けの施策は少ないです。……ですから、選挙投票はチーム戦だと思ってください。若い世代の意見も国会に取り入れて欲しいのならば、皆で団結して、選挙投票すべきです(もちろん、投票する人は個人の良心に従って決めてください)。また、投票したい立候補者がいない場合はどうすべきかと言うと、白紙投票でOK!です。白紙投票……これは「魅力的な施策がない。」と言う意思表示になり、政治団体は、どんな施策を本当は国民が求めているのかと気になり、私たちの意見を聞きつけかけとなります。ですから、「投票したい人がいないから行かない」ではなく、「もっと国民の意見を聞いて欲しいから白紙投票!」とした方が良いでしょう。

以上の理由より、あなたの一票はとても貴重なものなのです。投票しよう衆院議員選挙!未来を変えるのはあなたです!

有権者の皆さんには、選挙に行きたくないと思っております。選挙は日本の未来を決める一つの手段ですが、これは二十歳以上が持つ権利であって、子供たちにはありません。ですから、この地で育つ子供たちの未来の為に選挙に行きたくないと思っています。

あなたの一票は子供たちの一票でもあります。

どうか県知事選挙と県議会議員選挙の

投票宜しくお願いいたします。

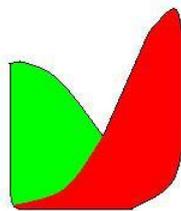
グループリーダーのプロフィール



富井篤弥

Atsuya Tomii

埼玉県出身 19歳
現在鳥取環境大在学中
「未来をぼくらの手で」
を16歳の時、結成し現在、
誰でも気軽に参加出来る
まちづくりを目指して、
頑張っております。



未来をぼくらの手で

Since 2011

市民参加型社会の構築を目標に掲げ、2011年の冬につくば市で立ち上げました。現在、メンバーは全員未成年ですが、誰でも簡単に市政やまちづくりに参加出来るまちを作るために僕たちが出来ることから少しずつ活動しております。

<http://miraiisourhunds.jimdo.com>
～つくば市・鳥取市で活動中～

4/12 統一地方選挙
行こうよ!投票所!
みんなの一票、明るい未来

みらぼくの公式ブログのQRコードです→

